

平成30年度は、専門部長として、多久高校の中島慎一校長先生を新しく迎え、樋口義朗(多久)、宮川淳(唐津東)、江原一興(鳥栖工)、小川高明(鳥栖工)を専門委員とし、武末良樹(多久)が専門委員長として各大会を実施することになりました。

今年度が開催された大会を、時間を追って紹介します。高体連関係で、6月の県総体では、金山・井原山・雷山山系で予定通りに行われました。7月の九州大会では、宮崎県の祖母山山系で開催され、8月の全国大会では、三重県の三池岳・御在所山山系で開催されました。山岳連盟関係で、4月に国体県予選、九州ブロックジュニア選手権、7月に鹿児島での国体九州ブロック予選、10月に福井県での国民体育大会、11月には、作礼山・天山山系での新人大会、12月には第9回全国高校選抜クライミング選手権が例年通り埼玉県加須市で開催されました。

以下、報告をいたします。

#### 平成30年度国民体育大会佐賀県予選

- ・期 日 4月15日(日)
- ・会 場 多久市  
多久高等学校
- ・参 加 校 (男子) 佐賀工 多久高 鳥栖工  
佐賀北 星生学園  
(女子) 多久高 佐賀北
- ・参 加 者 男子 32名 女子 3名
- ・カテゴリー 高校生男子、女子

今年は、昨年に引き続き、小学生のころからクライミングをやっている選手を含め、男子は5校32名の参加となりましたが、女子が2校3名のさびしい参加となりました。

男子については、世界大会に出場経験がある鶴本直生(多久高3年)くんが3年となり、国体出場経験のある小島麟太郎(佐賀北2年)くんなど、実力が均衡している世代が多く、今年も楽しみな大会でした。リードでは鶴本くんと梶晃悠(多久高2年)くんが完登し、タイム差により鶴本くんが1位となり、ボルダリングでは30本の課題のうち、鶴本くん、中園龍成(佐賀工3年)くんが1撃で登り、梶くん、平井寛太(星生学園2年)くんも全課題をクリアーし、4人が同点1位となりました。総合で鶴本くんが3連覇、梶くんが2位、平井くんが3位となりました。

女子については、昨年国体に出場した渡島夏希(佐賀北1年)さんと同レベルの掛林紗衣(多久高1年)さんが高校生になり、樋口結花(多久高2年)さんとどちらが国体でペアをくむのかが注目となりました。ただ女子は、この3名だけの参加で、選手層の薄さが気になりました。樋口さんはリードで完登し、ボルダリングでも23本の課題すべてをクリアし、その実力を遺憾無く発揮し、堂々の総合1位をとり、総合2位には、2人ともリードでは同高度まで登り、差がつかず、ボルダリングで渡島さんが掛林さんを1課題上回り、総合2位を勝ち取りました。男子は優勝の鶴本くんと梶くん、女子は昨年と同じペアで優勝の樋口さんと渡島さんを佐賀県代表として選出し、国体九州ブロックの代表選手としました。

#### 成績

- 男子 1位 鶴本 直生(多久高3年)  
リード1位(完登) ボルダリング 30/30本
- 2位 梶 晃悠(多久高2年)  
リード2位(完登) ボルダリング 30/30本
- 3位 平井 寛太(星生学園2年)  
リード4位(39+) ボルダリング 30/30本
- 女子 1位 樋口 結花(多久高2年)  
リード1位(完登) ボルダリング 23/23本
- 2位 渡島 夏希(成章中3年)  
リード2位(24+) ボルダリング 20/23本
- 3位 掛林 紗衣(中央中3年)  
リード2位(24+) ボルダリング 19/23本

#### 第18回九州ブロックスポーツクライミング選手権

- ・期 日 4月22日(日)
- ・会 場 宮崎市  
宮崎県体育館
- ・参 加 校 (男子) 佐賀 長崎 熊本  
大分 宮崎 鹿児島  
(女子) 佐賀 長崎 大分  
宮崎 鹿児島
- ・参 加 者 男子 39名 女子 24名
- ・カテゴリー 高校生男子、女子

毎年、九州各県で持ち回りでの開催で、高校生だけでなく小中学生も参加できる九州では比較的大きな大会で、今年は宮崎県で行われました。男子は、福岡・沖縄を除く6県から、女子は、福岡・熊本・沖縄を除く5県から

参加し、高校生だけでも男子 39 名、女子 24 名の参加となりました。

佐賀県から男子が 15 名、女子が 3 名参加しました。男女とも予選を 1 本行い、そのうち上位の男子 9 名、女子 6 名が決勝に進みました。男子は、大会 3 連覇を果たしている鶴本直生(多久高 3 年)くんが鹿児島県の高校生と予選で完登し、梶晃悠(多久高 2 年)くん、中武司(多久高 1 年)くん、佐保優(佐賀工 3 年)くん、平井寛太(星生学園 1 年)くんが決勝進出を果たしました。決勝では、鶴本くんと鹿児島県の高校生が完登し、タイム差で 4 連覇に輝きました。梶くんは予選を 3 位で通過し、決勝も 3 位、中武くんは予選 5 位(同高度 5 人)から決勝 6 位、佐保くんは予選 5 位から決勝 8 位、平井くんは予選 5 位から決勝 9 位と、それぞれ健闘しました。女子も大会 2 連覇を果たしている樋口結花(多久高 2 年)さんが予選で完登し、渡島夏希(佐賀北 1 年)さん、掛林紗衣(多久高 1 年)さんが決勝進出を果たしました。決勝でも、樋口さんが完登し、3 連覇に輝き、渡島さんが予選 3 位(同高度 2 人)から一つ順位を落とし、決勝 4 位、掛林さんが予選 6 位、決勝 6 位と、それぞれ健闘しました。

#### 成績(高校の部)決勝進出者のみ

|                 |                |
|-----------------|----------------|
| 男子              | 鶴本 直生(多久高 3 年) |
| 予選              | TOP 1 位/39 人   |
| 決勝              | TOP 1 位/9 人    |
| 梶 晃悠(多久高 2 年)   |                |
| 予選              | 33+ 3 位/39 人   |
| 決勝              | 27+ 3 位/9 人    |
| 中武 司(多久高 1 年)   |                |
| 予選              | 20+ 5 位/39 人   |
| 決勝              | 16 6 位/9 人     |
| 佐保 優(佐賀工 3 年)   |                |
| 予選              | 20+ 5 位/39 人   |
| 決勝              | 13 8 位/9 人     |
| 平井 寛太(星生学園 2 年) |                |
| 予選              | 20+ 5 位/39 人   |
| 決勝              | 8 9 位/9 人      |
| 女子              | 樋口 結花(多久高 2 年) |
| 予選              | TOP 1 位/24 人   |
| 決勝              | TOP 1 位/6 人    |
| 渡島 夏希(佐賀北 1 年)  |                |
| 予選              | 32+ 3 位/24 人   |
| 決勝              | 22+ 4 位/6 人    |

|                |              |
|----------------|--------------|
| 掛林 紗衣(多久高 1 年) |              |
| 予選             | 26+ 6 位/24 人 |
| 決勝             | 19+ 6 位/6 人  |

#### 県高校総体

- ・期 日 6 月 1 日(金)～3 日(日) (2 泊 3 日)
- ・会 場 佐賀市三瀬村・富士町  
金山・井原山・雷山山系
- ・参加校 (男子) 鳥栖工 三養基 佐賀工  
多久高 唐津東 (5 校)  
(女子) 三養基 唐津東 (2 校)
- ・参加者 男子 50 名 女子 13 名
- ・コース 1 日 山中キャンプ場 [開会式]  
山中キャンプ場－特区 S－縦走競技  
(特区间)－番所跡(ゴール)－金山(隊  
行動)－山中キャンプ＝北山少年自然  
の家 [幕営]  
2 日 北山少年自然の家＝北山東部小学校周  
辺駐車場－新村開拓－水無鍾乳洞分岐  
－井原山－雷山－雷山東登山口＝北山  
少年自然の家 [幕営]  
3 日 北山少年自然の家＝北山東部小学校－  
周辺－北山東部小学校 [閉会式]

1 日(金)10 時、山中キャンプ場で開会式を行い、式後、全員によるペーパーテスト(登山知識について)を行いました。昼食後、そこから金山手前の番所跡まで特区间(チームによるタイムレース)を実施し、ゴール後、それぞれで休憩し、金山をピストンで登頂し、山中キャンプ場に向けて隊行動で下りました。天候は晴れで、熱中症も気にしつつ、番所跡(ゴール)で待機しながら選手の安全に留意しました。男子は、昨年 6 連覇を阻まれた佐賀工と伝統校で昨年優勝の鳥栖工との一騎打ちでしたが、佐賀工が 2 分ほど上回り、1 位を獲得した。女子は昨年の全国大会を経験している唐津東がトップでゴールしました。山中キャンプ場に戻り、装備検査を行い、顧問の車で北山少年自然の家に向かいました。例年、この日は山中キャンプ場で幕営しているのだが、天候が崩れると逃げ込む場所が少なく、体育館を有している北山少年自然の家を幕営地としました。北山少年自然の家に着後、各校代表による気象審査(天気図作成)・医療審査(ペーパーテストと医薬品装備審査)、幕営審査、炊事審査が行われ、夜 9 時には消灯となりました。

2日(土)は、4時に起床し、5時30分集合し、北山少年自然の家から、車で縦走スタート地点である北山東部小学校周辺の駐車スペースに向かいました。今回のコースは平成10年度の県総体のコースとほぼおなじで、北部小学校から三瀬トンネル料金所近くの新村開拓付近のスタート地点まで舗装道を歩き、到着後、一旦休憩し、水無鍾乳洞分岐、井原山、雷山、雷山東登山口まで隊行動で行うコースとしました。各隊の隊長が選手たちを率いて、井原山・雷山山頂を目指しました。途中の舗装道にも読図ポイントを置きながら、井原山まで2回の休憩をはさみつつ、選手たちは井原山に到着しました。天候は最高で福岡市や糸島市など玄界灘を遠くに眺め、県総体では久しぶりに味わう絶好の登山日和でした。その後雷山まで縦走し、ゴール地点である雷山東登山口に到着しました。監督の車に乗る前に、装備検査を行い、北山少年自然の家に向かい、幕営審査、炊事審査を行い、就寝となりました。

3日(日)は、5時に起床し、6時30分集合し、北山東部小学校に向かい、昨年度から復活した踏査競技を行いました。踏査競技は平成15年度まで行ってきた競技の一つで、1万分の1の地図(縦走中は2万5千分の1)で、読図を行い、ポイントが置かれている位置を正確に把握する競技で、規定時間内に戻ってきたチームに、4点を与え、読図ポイントを12カ所置き、正確性を競いました。各チームが2分おきにスタートしていき、練習不足が気になっていた多久高校の2パーティが少々道に迷っていたようで、規定時間に戻ることができませんでした。今回の反省として、踏査競技が民家の近くで行われることで、下見も兼ねて各校が練習していたが、獣除けの金網を元に戻しておかなかったことがあったのか、大会中に地元の住民からクレームがありました。

昨年度から踏査競技を入れたのは、スタート地点とゴール地点を同じとし、役員による車の搬送を少なくするためでありました。登山大会は10数km離れた地点を縦走するもので、九州大会以上は幕営地からスタート地点、ゴール地点から幕営地まで選手から諸経費をいただき、バスを使い、選手の移送を行うことになっている。そうすることで、会場(縦走する山)のそばに体育館を有する施設(緊急時の避難場所)がなくても、少し離れた教育施設を幕営地として運営することができている。県の大会では顧問の車でそれを行っているのだが、選手たちにも役員として隊長・副隊長等の行動役員を付け、選手の安全に気を付けていて、5人の専門委員が審査員として選

手と行動を共にし、残った役員が複数回で各校の顧問の車を移動して大会運営に当たっている。学校数が減り、顧問数が減り、選手の健康・安全を考えるならば、大会のやり方を少しずつ変えていくと考えていきたい。

男子は、佐賀工が7点以上の差で、鳥栖工を破り、2年ぶり12回目の優勝となり、九州総体、全国総体への切符を、2位は鳥栖工が九州総体の切符を手に入れました。女子は、唐津東が5年連続で5回目の優勝となり、九州総体、全国総体への切符を手に入れました。

#### 成績

|    |    |     |                    |
|----|----|-----|--------------------|
| 男子 | 1位 | 佐賀工 | 94.200点(九州・全国大会出場) |
|    | 2位 | 鳥栖工 | 86.800点(九州大会出場)    |
|    | 3位 | 三養基 | 78.200点            |
| 女子 | 1位 | 唐津東 | 90.900点(九州・全国大会出場) |
|    | 2位 | 三養基 | 60.300点            |

#### 第61回全九州高等学校登山競技大会

・期 日 7月6日(金)～9日(月)(3泊4日)

・会 場 宮崎県 祖母山・傾山山系

・参加校 男子A隊 7校

男子B隊 7校

女子C隊 7校

・出場校の選手・監督

男子A隊 佐賀工：大坪 俊輔 副島 大揮  
池田 昂世 畑瀬 一樹

監督：末次 広人

男子B隊 鳥栖工：直塚 敦樹 平田 壮矢  
林 雅也 赤司 直生

監督：宮原 敏明

女子C隊 唐津東：吉田 日向子 池田 有希子  
岡本 柚季 松尾 世那

監督：宮川 淳

・コース

7／6 開会式(高千穂町武道館)  
高千穂町武道館(泊)

7／7 高千穂町武道館(雨天待機)  
高千穂町武道館(泊)

7／8 高千穂町武道館＝旧五ヶ所小学校[チーム行動]－筒が岳－千間平手前分岐－北谷登山口－旧五ヶ所小学校＝旅館(泊)

7／10 閉会式(高千穂町武道館)

6日 監督リーダー会議後に開会式があり、その後、自然観察、天気図作成、医療審査、気象知識のペーパーテストが行われましたが、設営審査は雨天のため行えず、炊事審査も屋根のあるところで少々手狭なところでが行われ、体育館で就寝となりました

7日 登山行動1日目、朝から雨が止まず、またスタート地点である尾平越トンネルまでの県道が大雨により通行止めとなったため、高千穂町武道館で1日待機することになり、山中で行うはずの装備審査を体育館で行い、昼から一時的に雨がおさまり、そのタイミングで設営審査を行うことができました。その間、前日の各ペーパーテスト等の採点を行い、炊事審査を行い、体育館での就寝となりました。

8日 登山行動2日目、天候は朝のうちは小雨程度であったが、回復傾向であると判断し、旧五ヶ所小学校に向かいました。ただ、前日からの雨で祖母山への登頂はできないと判断しました。旧五ヶ所小学校をスタートし、筒が岳を超え、千間平手前のピークから北谷登山口へ下山し、九州自然歩道で旧五ヶ所小学校に戻るコースを選択たちはチーム行動(隊長・副隊長の間を選手は自分たちで行動し、規定時間内でゴールに着く)で懸命に頑張っていた。旧五ヶ所小学校でバスに乗り、旅館に向かいました。宿では濡れた体を、お風呂で温めることができ、選手たちは旅館での風呂・布団・食事となり、今までの疲れを十分に癒やせました。ただ、この時期の天候はほとんど雨であり、毎年、満足な登山行動ができないのが残念でした。

9日 10時から、高千穂町武道館で閉会式となりました。天候が悪く、十分な審査ができませんでした。男子は、長崎北陽台高校が99.6点で優勝しました。県総体で優勝した佐賀工が95.0点の3位で、2位の鳥栖工が83.4点で9位でした。女子は、長崎北陽台高校が98.3点で優勝しました。唐津東は、89.0点で5位でした。

#### 成績

|    |    |     |       |
|----|----|-----|-------|
| 男子 | 3位 | 佐賀工 | 95.0点 |
|    | 9位 | 鳥栖工 | 83.4点 |
| 女子 | 5位 | 唐津東 | 89.0点 |

#### 平成30年度国民体育大会九州ブロック予選

- ・期 日 7月13日(金)～15日(日)(2泊3日)
- ・会 場 鹿児島県  
大坂ボルダリング施設  
(旧大坂小学校体育館)

白波スタジアム クライミングウォール  
(県立鴨池陸上競技場)

- ・参加県 少年男子 8県  
少年女子 8県

- ・出場校の選手・監督  
少年男子 靄本 直生(多久高3年)  
梶 晃悠(多久高2年)  
監督:武末 良樹(多久高)  
少年女子 樋口 結花(多久高2年)  
渡島 夏希(佐賀北1年)  
監督:樋口 義朗(多久高)

- ・日 程  
7/13 監督リーダー会議・開始式  
(鹿児島市鴨池体育館)  
7/14 ボルダリング競技  
7/15 リード競技・表彰式

少年男子は、4年連続出場の靄本直生(多久高3年)くんと後輩の梶晃悠(多久高2年)くんとペアを組み、国体出場を目指しました。少年女子は、小学生時代から活躍している樋口結花(多久高2年)さんと昨年も国体に出場した渡島夏希(佐賀北1年)さんとペアを組み国体出場を目指しました。監督リーダー会議後、開始式が行われ、翌日からの競技に備えました。

14日 南さつま市に移動し、旧大坂小学校体育館にてボルダリング競技が行われました。男女とも、3位までが国体に出場できるのですが、男子は福岡県・鹿児島県の選手が4課題中2課題をクリアしましたが、靄本くんは3課題をクリアし、個人1位に、梶君も1課題をクリアし、個人4位となり、団体1位でスタートしました。女子は、大分の選手が4課題をクリアし、個人1位をとられはしましたが、樋口さん・渡島さんとともに3課題をクリアし、男子と同じく、団体1位をとりました。

15日 鹿児島市に戻り、白波スタジアムクライミングウォールでリード競技が行われました。男子は、リードを得意としている靄本くんが地元の選手がわずかに上回り個人1位をとり、梶くんも個人4位と健闘し、団体1位を獲得しました。女子は、樋口さんが完登こそできなかったものの2位を8手以上引き離し、個人1位をとり、渡島さんも福岡県の一人と同高度まで登り、2位を分け合い、団体1位をとりました。

結果、男子も女子も総合1位となり、国体出場を決めました。少年男子は、5年連続、少年女子は6年連続で10月に福井で行われる国体に進みました。

少年男子 鶴本 直生(多久高3年)  
 ボルダリング 1位 リード 1位  
 梶 晃悠(多久高2年)  
 ボルダリング 4位 リード 4位  
 総合1位(国体出場)

少年女子 樋口 結花(多久高2年)  
 ボルダリング 2位 リード 1位  
 渡島 夏希(成章中3年)  
 ボルダリング 3位 リード 2位  
 総合1位(国体出場)

## 第62回全国高等学校登山競技大会

- ・期 日 8月3日(金)～8月7日(火) (4泊5日)
- ・会 場 三重県 三池岳・御在所山山系
- ・参加校 男子A隊 47校(沖縄県除く・開催県2校)  
 女子B隊 47校(沖縄県除く・開催県2校)
- ・出場校の選手・監督

男子A隊 佐賀工：大坪 俊輔 副島 大揮  
 池田 昂世 畑瀬 一樹  
 監督：加藤 昭平

女子B隊 唐津東：森 冴華 吉田 日向子  
 橋本 衣那 岡本 あさひ  
 監督：宮川 淳

### ・コース

- 8 / 3 開会式（菰野町町民センターホール）  
 三重県民の森(泊)
- 8 / 4 (男女)幕営地＝八風キャンプ場駐車場－  
 八風射撃場跡－三池岳－八風峠－八風  
 射撃場跡金姥－八風スポーツ公園＝幕  
 営地
- 8 / 5 (男女)幕営地＝朝明駐車場－ブナ清水－  
 朝明茶屋キャンプ場－朝明駐車場＝幕  
 営地
- 8 / 6 (男)幕営地＝御在所ロープウェイ駐車  
 場－中道登山口－御在所朝陽台広場  
 －国見峠－国見岳直下－御在所朝陽  
 台広場[パーティ行動]－山上公園駅  
 －湯の山温泉駅＝各宿舎(泊)
- (女)幕営地＝御在所ロープウェイ駐車  
 場－中道登山口－御在所朝陽台広場  
 [パーティ行動]－山上公園駅－湯の  
 山温泉駅＝各宿舎(泊)

2日 12：30～専門委員長会議  
 15：30～監督リーダー会議

本来、全国大会における審査員は、指名常任委員に加え、各ブロックの常任委員が審査にあたる場所であるが、鹿児島県の先生が、大会に出席できないことが6月にわかり、審査経験のある武末が審査員として参加することになり、6月の拡大事務局会議に加え、7月30日から現地入りし、13年ぶりに全国大会の審査をすることになりました。最近、チーム行動が新設され、審査基準が変わってきていることもあり、勉強するつもりもあり、審査(B隊：女子)の末席に加わりました。2日、専門委員長会議に出席し、審査員として監督リーダー会議に出席し、久しぶりの審査で、依然知り合った全国の先生方から「何している？」とからかわれ、翌日からの登山行動に備えました。

3日 菰野町町民センターホールで10時より開会式が行われました。登山隊編成後、天気図審査、自然観察、救急知識、気象知識テストが菰野高等学校で行われました。私の担当は、天気図審査で、県総体でも九州大会でもその役割でしたので、運命的なものを感じつつ、各校選手の天気図を眺めていました。各隊でコース隊が編成され、バスで幕営地に移動後、設営審査・炊事審査が行われました。B隊47校の設営審査・炊事審査を行い、宿に戻り、翌日の登山行動について、説明を受けました。

4日 登山行動1日目で、天候は晴れているが、気温は相当上がり、昨日の説明の通り、八風キャンプ場から三池岳を経て八風峠までは予定通りの行動であったが、釈迦ヶ岳には向かわず、八風谷を下り、元の八風キャンプ場に戻るコースとなりました。地元山岳連盟の協力もあつたことから、配布された地図には赤いライン(大会中の登山行動ライン)が引かれていないコースを選手たちは下って行きました。八風スポーツ公園に到着後、装備検査を行い、八風キャンプ場まで車道を下り、駐車場からバスに乗り、幕営地に向かい、設営・炊事審査を行いました。その後、宿に戻り、その日の採点を行い、翌日の審査に備えました。

5日 登山行動2日目で、その日の気温も上昇傾向で選手たちの安全を考慮し、コースが変更されました。本来、その日のゴール地である朝明茶屋キャンプ場をスタートとして、本来のコース中にあるブナ清水の地点を往

復するコースとなり、この時期における気温が高くなる時の運営側の苦慮が伺える。そのようなコースなので、私とペアを組んでいる先生が本部待機となり、選手たちに返却するプリント物を印刷しながら審査員の帰りを待ちました。

6日 登山行動最終日は、やはり気温の上昇が予想され、登山行動2日目で登るはずだった御在所ロープウェイ登山口から中身登山道で御在所朝陽台広場に向かい、国見岳をピストンして広場に戻り、そこからロープウェイで下山するコースとなりました。ただし、後からスタートしている女子については国見岳もカットして、広場に到着後、男女ともしばらくは広場で散策(この時点で審査は終了)を行い、時間までに各パーティごとにロープウェイで湯の山温泉駅に下り、解散式を終え、それぞれ宿に向かいました。この日も審査の関係で本部待機となり、各審査員が戻ってきてから最後の採点を行いました。

7日 10:00 閉会式

今回の三重大会は、気温との戦いで、19総体の佐賀で登山隊長を経験した私にとって、感慨深いものでした。雨や台風を予想していた荒天対策が、高気温によるもので熱中症が続出し、そのときB隊で参加していた三重県の監督さんが、今回B隊隊長をされていて、あの時の教訓が今回のコース変更につながり、暑かったわりにはそれほど熱中症は出なかったと言われました。あの時の自分がそれができずに少し後悔しているのだが、この時期の標高の低い、西日本の山でインターハイが行うことには相当リスクがあると改めて思い知らされました。来年、宮崎県祖母山系で行われます。選手の安全を考慮し、大会運営に当たりましょう

A隊の優勝は、広島県の修道高校で100点でした。2年ぶりの全国大会となった佐賀工が97.8点で、14位となりました。B隊の優勝は、山口県の防府高校で99.3点でした。昨年より得点は上がったものの唐津東は、91.6点で、38位となりました。

#### 成績

男子 14位 鳥栖工業 97.8点  
女子 38位 唐津東 91.6点

#### 平成30年度国民体育大会

・期 日 10月4日(木)～10月7日(日)(3泊4日)  
・会 場 福井県 池田町特設会場  
(リード) (ボルダリング)

・参加県 少年男子20県  
少年女子16県

#### ・出場校の選手・監督

少年男子 靄本 直生(多久高3年)  
梶 晃悠(多久高2年)

監督: 武末 良樹(多久高)

少年女子 樋口 結花(多久高2年)  
渡島 夏希(佐賀北1年)

監督: 樋口 義朗(多久高)

#### ・コース

9/30 監督会議  
(清風荘)

10/1 少年男子 リード予選  
少年女子 リード予選

10/2 少年男子 ボルダリング予選  
少年女子 ボルダリング予選

10/3 少年女子 リード決勝  
ボルダリング決勝

今年は、少年男子は5年連続、少年女子は6年連続の国体となりました。少年男子は4年連続出場で高校生としては最後になる靄本直生(多久高3年)くんと同じ学校で国体初出場の梶晃悠(多久高2年)くんのペア、少年女子は3年連続出場の樋口結花(多久高2年)さんと今年から高校生になった2年連続の渡島夏希(佐賀北1年)さんのペアが出場しました。

5日 少年男子は、昨年の開催地である愛媛県をはじめ全国の名だたるクライマーたちが集う20組が、午前中のリード予選が挑みました。昨年の英弁字をしたい4年連続の靄本くんは、果敢に挑みますが、個人8位に終わり、初出場の梶くんも緊張していないという割には高度が出ず、個人29位と伸びず、僅差で総合9位となり、予選を敗退しました。少年女子は、3年連続の樋口さんもわずかな差で予選9位6位となり、渡島さんも懸命に登り、個人20位となり、予選7位で決勝へ進出しました。

6日 少年男子は昨日予選敗退しているだけに、この日の予選を通らなければ、最終日(7日)の試合は、一昨年同様、悔しい観戦にとどまるだけに、気持ちを切り替えて、ボルダリングに挑みました。4課題すべてを完登した選手が1人、3課題が9人出て、非常に厳しい状況下で二人の成績が4課題クリア7課題ゾーン(途中のポイント)だったが、同じ成績が佐賀県を含めて4チームい

て、完登に要したアテンプト(試技数:少ない方が勝ち)の差で、10位となり予選を敗退し、4年ぶりに入賞がかなわなかった。少年女子は、上位者が4課題のうち3課題を完登したのが7名で、樋口さんも2課題を完登し、渡島さんも1課題を完登し、予選7位で決勝進出を果たしました。

3日 少年男子は久しぶりに試合を逃し、少年女子と成年男子の応援に回った。少年女子は樋口さんが安定した登り個人5位をでったが、渡島さんの高度が思った以上に上がらず決勝進出16人の中で16位と振るわなかったが、総合6位をとりました。午後にボルダリング決勝が行われたが、4課題のうち、4課題を完登した選手が4人であるなか、樋口は2課題の完登に終わり、渡島も1課題を完登したが、ゾーン数の差で順位が決まり、総合8位で終わりました。

成績

- 少年男子 轟本 直生(多久高3年)
- 梶 晃悠(多久高2年)
- リード予選 9位
- ボルダリング予選 10位
- 少年女子 樋口 結花(多久高2年)
- 渡島 夏希(佐賀北1年)
- リード予選 7位 決勝 6位
- ボルダリング予選 7位 決勝 8位

第9回全国高等学校選抜クライミング選手権大会

佐賀県予選会

- ・期 日 10月28日(土)
- ・会 場 多久市  
多久高校クライミングウォール
- ・参加校 (男子) 鳥栖工 佐賀工  
多久 星生学園(4校)
- (女子) 多久 佐賀北(1校)
- ・参加者 男子45名 女子4名 計49名
- ・カテゴリー エキスパート リード1ルート  
ミドル リード1ルート  
高校女子 リード1ルート

全国高体連共催になっている第9回全国高校生選抜クライミング選手権大会の予選を兼ねているため、男子の3年生が7名参加し、男女併せて総勢45名で、大会が行われました。予定通り全国大会につながるエキスパ

ートクラスと、競技を浸透させるためのミドルクラスを開催しました。エキスパートクラスには、男子は、国体参加の轟本直生(多久高3年)くん、梶晃悠(多久高2年)くんに加え、日ごろから積極的に練習している佐賀工業、星生学年の選手が参加し、女子は国体参加の樋口結花(多久高1年)さん、渡島夏希(佐賀北1年)さん、渡島さんのライバルでもあり友人の掛林紗衣(多久高1年)を含め、4人の参加となりました。ミドルクラスには、佐賀工業・多久・鳥栖工業の男子選手が出場しました。エキスパートクラスでは、先のJOCで決勝進出した轟本くんは予選免除で全国大会に進めるが、完登で1位となり、国体に出場した梶くんと同じ学校の中武司(多久高1年)が同高度となり、タイム差で梶くんが2位、中武くんが3位に入りました。ミドルクラスでは、佐藤壮馬(佐賀工1年)くんが優勝しました。女子については、先の国体で決勝進出を果たした樋口さんと渡島さんは予選免除で全国大会に進めるが、樋口さんが安定した登りで完登しました。2位には掛林さんが入り、3位に渡島さんが入りました。結果、男子は、轟本くんが日山協推薦で、2位・3位になった梶くん・中武くんが県推薦で全国大会への出場を決め、男子の団体枠として初めて多久高校が選ばれました。女子は樋口さん・渡島さんが日山協推薦で、2位・4位に入った掛林さん・原彩樺(多久高1年)が県推薦で全国大会への出場を決め、3年ぶりに女子の団体枠(4回目)が復活し、それぞれ12月に行われる全国大会の切符を手に入れました。

成績

- 男子 E1位 轟本 直生(多久高3年)
- E2位 梶 晃悠(多久高2年)
- E3位 中武 司(多久高1年)
- M1位 佐藤 壮馬(佐賀工1年)
- M2位 西村 大樹(多久高2年)
- M3位 長尾 海人(佐賀工1年)
- 女子 1位 樋口 結花(多久高2年)
- 2位 掛林 紗衣(多久高1年)
- 3位 渡島 夏希(佐賀北1年)
- 4位 原 彩樺(多久高1年)

新人大会

- ・期 日 11月10日(土)・11日(日)(1泊2日)
- ・会 場 唐津市厳木町・小城市・多久市  
作礼山・天山山系

・参加校 (男子) 鳥栖工 三養基 佐賀工

唐津東 多久 (5校)

(女子) 唐津東 (1校)

・参加者 男子 34 名 女子 6 名 計 40 名

・コース 10 日 平之分校跡園[開会式]

縦走競技:平之分校跡ー鈴虫峠ー作礼山(西峰)ー作礼山キャンプ場ー作礼山(東峰)ー平之分校跡=多久高校

医療審査、天気図審査

設営・炊事審査(多久高校)[幕営]

11 日 縦走競技:多久高校=石体登山口ー七曲峠ー天山ー雨山分岐ー天山登山口ー岸川ダム登山口=多久高校[閉会式]

10 日 この山系は3年前の新人大会で閉会式会場として使用した平之分校跡を開会式会場として使用し、鈴虫峠を経て、作礼山に登頂し、平之分校跡に戻ってくる周回コースとして開催し、役員の車移動を擁しない大会となった。唐津市厳木町の平之分校跡は地元民がよく利用している。分校跡に集合し、開会式後に、ペーパーテストを行い、昼食後、登山行動がスタートしました。天気がよくわりとスムーズに行動を行っていた。鈴虫峠で一時休憩し、この山系では急登となるところでは、しっかり体力審査を行い、作礼山頂で唐津湾を眺め、キャンプ場で装備検査を行い、分校跡までの下りで歩行審査を行い、平之分校へ戻ってきた。ただ、この時期は、地元の方々が紅葉観光を地元のイベントとして企画していて、県内外から多数のお客さんがきていることもあり、新人大会を企画するには、早めに関係部署に連絡を取り交通安全に気を付けたいと思いました。分校跡で顧問の車に乗り、幕営地である多久高校に向かいました。多久高校に到着後、天気図審査、医療テスト、設営・炊事審査を行い、就寝となりました。

11 日 5時に起床し、6時30分に多久高校を出発し、石体登山口に向かい、縦走が始まりました。このコースは、国体で縦走競技が行われていた時の縦走(特区)コースで、その当時の看板(手作り)をまだ見ることができ、懐かしい思いで大会運営に当たりました。審査員が体力・歩行審査・読図審査も行いながら、七曲峠で装備審査を行い、天山にも元気に登ってきました。その後、滑りやすい下りを気を付けながら慎重に下り、天山登山口からは舗装道が続くので安心して下ってました。ただ、岸川ダム登山口の直前の道路が昨年的大雨で寸断されてい

て、迂回ルートをおりて、ゴール地点に向かいました。顧問の車で閉会式場である多久高校に向かい、審査内容をすべて入力し、閉会式を迎えました。男子では、唐津東が84.35点で優勝となり、平成5年以来の優勝となりました。2位には佐賀工A、3位には三養基がはいりました。女子は、全国大会を経験した唐津東Bが84.43点で6連覇を成し遂げましたが、2位に入ったのも唐津東Aで女子部員の少なさが心配です。

#### 総合成績

|    |     |      |         |
|----|-----|------|---------|
| 男子 | 1 位 | 唐津東  | 84.35 点 |
|    | 2 位 | 佐賀工A | 83.05 点 |
|    | 3 位 | 三養基  | 80.32 点 |
| 女子 | 1 位 | 唐津東B | 84.43 点 |
|    | 2 位 | 唐津東A | 83.38 点 |

#### 第9回全国高等学校選抜クライミング選手権大会

・期 日 12月23日(土)・24日(日)

・会 場 埼玉県加須市  
加須市民体育館

・参 加 校 (男子) 多久  
(女子) 多久 佐賀北

・参 加 者 男子 3 名 女子 4 名

・カテゴリー 高校生男子  
高校生女子

高体連共催になり、10月のクライミング選手権の成績をもとに、佐賀県から男女7名の選手が参加しました。

男子は、国体に出場している轟本直生(多久高3年)くんの最後の大会になったが、本来の力が発揮されず、完登者がA壁8人、B壁10人出の中で、予選の2本とも最後のホールドがつかめず、A壁9位(3人)、B壁11位(5人)で予選は12位でクリアしたものの、準決勝は19位で敗退し、決勝進出を逃しました。同じく国体に参加した梶晃悠(多久高2年)くんもA壁25位(7人)、B壁予選28位(3人)で予選29位は準決勝まであと2人及ばず、初出場の中武司(多久高1年)くんはA壁41位(31人)、B壁56位(3人)で予選55位と力及ばず、予選ルートで敗退となりました。ただし、学校別の団体戦では、轟本くん、梶くんの成績が団体4位となり、男子初の入賞でした。

女子は、大会2回目となった樋口結花(多久高2年)さんは、昨年の準決勝で足が滑り、悔しい敗退となっただけに今年は静かに闘志を燃やしていました。予選2本と



も最後の選手で見事に2本とも完登し、予選1位(樋口含めて8人)で準決勝に進みました。準決勝でも期待されたが、ゴール手前の見えにくいホールドに気づかず、落下し、準決勝5位で決勝進出を果たしました。決勝では、初めに完登し、暫定1位を手にするも、後続の選手が2人完登し、準決勝の順位をカウントバックし、個人3位に輝きました。また、初出場の掛林紗衣(多久高1年)さんがC壁18位(7人)、D壁27位(4人)で予選24位を勝ち取り、準決勝に進みました。準決勝ではオブザベーション(登る前の下見の時間)中に樋口さんのアドバイスを受け、最初の革新部分であるポイントを超え、その後の選手がそのポイントで5人通過できずに、準決勝19位と終わりました。同じく初出場の国体経験のある渡島夏希(佐賀北1年)はC壁26位(2人)、D壁27位(2人)で予選29位は準決勝まであと3人及ばず、同じく初出場の原彩樺(多久高1年)さんは、C壁58位、D壁55位(7人)で力及ばなかったが、4月から初めてことを考慮に入れ、今後に期待したい。学校別の団体戦では、樋口さん3位、掛林さん19位は、2位以下の学校を大きく引き離し、日本一の栄冠を勝ち取りました。

#### 成績

男子 鶴本 直生(多久高3年)

|      |     |      |     |          |
|------|-----|------|-----|----------|
| Aルート | 36+ | Bルート | 39+ | 12位/110人 |
| 準決勝  | 28  |      |     | 19位/27人  |

梶 晃悠(多久高1年)

|      |     |      |     |          |
|------|-----|------|-----|----------|
| Aルート | 31+ | Bルート | 37+ | 29位/110人 |
|------|-----|------|-----|----------|

中武 司(多久高1年)

|      |     |      |    |          |
|------|-----|------|----|----------|
| Aルート | 26+ | Bルート | 30 | 55位/110人 |
|------|-----|------|----|----------|

団体(多久高校2名の成績による団体戦)

4位/28校

女子 樋口 結花(多久高2年)

|      |     |      |     |         |
|------|-----|------|-----|---------|
| Cルート | TOP | Dルート | TOP | 1位/101人 |
|------|-----|------|-----|---------|

|     |    |  |  |        |
|-----|----|--|--|--------|
| 準決勝 | 31 |  |  | 5位/26人 |
|-----|----|--|--|--------|

|    |              |  |  |       |
|----|--------------|--|--|-------|
| 決勝 | TOP(カウントバック) |  |  | 3位/8人 |
|----|--------------|--|--|-------|

掛林 紗衣(多久高1年)

|      |     |      |     |          |
|------|-----|------|-----|----------|
| Cルート | 36+ | Dルート | 35+ | 24位/101人 |
|------|-----|------|-----|----------|

|     |     |  |  |         |
|-----|-----|--|--|---------|
| 準決勝 | 22+ |  |  | 19位/26人 |
|-----|-----|--|--|---------|

渡島 夏希(佐賀北1年)

|      |     |      |     |          |
|------|-----|------|-----|----------|
| Cルート | 35+ | Dルート | 35+ | 29位/101人 |
|------|-----|------|-----|----------|

原 彩樺(多久高1年)

|      |    |      |     |          |
|------|----|------|-----|----------|
| Cルート | 26 | Dルート | 22+ | 57位/101人 |
|------|----|------|-----|----------|

団体(多久高校2名の成績による団体戦)

1位/19校

## 平成30年度佐賀県高等学校総合体育大会登山大会自然観察課題

### 1 次の文中の ( ① ) ～ ( ⑳ ) に入る適切な語句を答えなさい。【0.5×24】

今年の大会は、佐賀県・福岡県にまたがる脊振山系で開催される。この山域が記載されている国土地理院発行の2万5千分の1地形図の名称は、「雷山」と「( ① )」である。脊振山系は佐賀県と福岡県の県境に連なり、東は標高404.3mの( ② )から、西は535.2mの( ③ )まで、全長約70キロに及ぶ九州でも長いロングトレイルコースである。金山は福岡県福岡市( ④ )区、井原山・雷山は福岡県( ⑤ )市にそれぞれ面している。

1日目は、( ⑥ )キャンプ場で開始式が行われ、その後ペーパーテスト、昼食の後、( ⑥ )キャンプ場をスタート地点とし、特区が行われる。スタート地点を出発した後、( ⑦ )で右折し、しばらく広域林道を東進し、( ⑧ )コースを経て、九州自然歩道に出会い、番所跡のゴール地点を目指す。その後、パーティ行動で標高( ⑨ )mの金山山頂を往復する。番所跡からは、隊行動で金山四差路を南下し、( ⑦ )手前で( ⑩ )の滝を見下ろしながら、( ⑥ )キャンプ場へ戻り、そこから車で( ⑪ )に移動し、天気図・設営などの審査を行う。

2日目は、( ⑫ )時に起床し、5時30分に集合した後、車で( ⑬ )周辺駐車場に移動し、隊行動での縦走が始まる。国の天然記念物である( ⑭ )横の車道を北上し、( ⑮ )へ向かう。休憩後、( ⑯ )分岐を左折し、標高( ⑰ )mの井原山を目指す。井原山付近の縦走路には5月の上旬にはピンクの花をつけたコバノ( ⑱ )が咲き誇り、多くの登山者が訪れている。井原山から標高( ⑲ )mの雷山へ向けて縦走路を進む。雷山山頂から西に目を向けると、電波時計用の信号を送信している高さ約200mのアンテナが立つ( ⑳ )山を望むことができる。その後、雷山から雷山東登山口に下り、車で( ⑪ )に移動し、幕営となる。

3日目は、5時に起床し、6時30分に集合した後、車で( ⑬ )に移動し、( ㉑ )競技が行われる。( ⑬ )をスタート地点とし、( ㉒ )か所のチェックポイントと12か所の読図ポイントを競う競技で( ㉓ )トンネルあたりでおおよそ進行方向を西から東へ向きを変え、車道に出た後、( ㉔ )を渡り、( ⑬ )に戻ってから、閉会式が行われる。

### 2 次の問いに答えなさい。【0.5×8】

(1) 次の地名の読みを書きなさい。

- ① 弥栄      ② 土師      ③ 神水川

(2) 次の地図記号の名称を答えなさい。



(3) 大会地図上で1での( ⑮ )から雷山までの直線距離は約18cmだった。実際の直線距離は何mか。

(4) 大学山岳部に入部して、登山を始め、六大陸の最高峰に登り、先日(5/21)、エベレストで亡くなった登山家の名前は誰か。

裏面に続く

3 次の文中の ( ① ) ～ ( ⑩ ) に入る語句を下の語群から選び、記号で答えなさい。【0.3×10】

- (1) ( ① ) 前線は、寒気団と暖気団の勢力が同じくらいであって移動しにくい前線を言う。6～7月にできる梅雨前線が代表的であり、前線上を小さな ( ② ) が西から東に移動し悪天をもたらす。
- (2) ( ③ ) は熱帯地方で発生する低気圧で、風速により ( ③ ) と ( ④ ) に分けられ、中心付近の最大風速が ( ⑤ ) m/s 以上になったものをいう。
- (3) 雷は激しい ( ⑥ ) 気流が主な原因で、( ⑦ ) になって発生する。その発生は ( ⑧ ) が圧倒的に多い。
- (4) 佐賀市のアメダス（標高 6 m）における気温が 27℃である時、井原山山頂の気温は気温減率のみを根拠に計算すると ( ⑨ ) ℃となる。また、山頂では風がやや強く風速 9 m/秒だったとすると、「リンケの式」では体感温度は ( ⑩ ) ℃となる。

|      |      |         |      |       |       |
|------|------|---------|------|-------|-------|
| ア：温暖 | イ：寒冷 | ウ：閉塞    | エ：停滞 | オ：低気圧 | カ：高気圧 |
| キ：台風 | ク：上昇 | ケ：下降    | コ：層雲 | サ：積乱雲 | シ：巻積雲 |
| ス：午前 | セ：午後 | ソ：熱帯低気圧 | タ：8  | チ：11  |       |
| ツ：17 | テ：20 | ト：25    |      |       |       |

4 次の文は何を説明しているのか、( ① ) ～ ( ⑩ ) に入る語句を下の語群から選び、答えなさい。【0.1×10】

- ① ( ) 荷物を一時置いていくこと。
- ② ( ) 緊急時の避難路、逃げ道。
- ③ ( ) 山頂から次の山頂へと尾根伝いに歩く登山形式をいう。
- ④ ( ) 川や沢で上流から下流を左側の岸
- ⑤ ( ) 山頂や登山道などに道しるべとして石を積んだもの。
- ⑥ ( ) 調理しなくても食べられる食料。
- ⑦ ( ) 山腹・岩壁を横切ること。
- ⑧ ( ) 山中で茅などが広く生えている尾根や緩斜面
- ⑨ ( ) ビバーク用の簡易テント
- ⑩ ( ) 不安定で転がりやすい石

語 群

|    |    |     |     |     |      |          |
|----|----|-----|-----|-----|------|----------|
| デボ | 左岸 | 予備食 | 沢登り | 非常食 | ツェルト | トラバース    |
| 縦走 | 尾根 | 行動食 | ケルン | かやと | シュラフ | トレッキング   |
| 右岸 | 徒渉 | へつり | 浮き石 | 草付き | 集中登山 | エスケープルート |

平成30年度佐賀県高等学校総合体育大会登山大会自然観察課題 解答

1 【0.5×24】

|                             |               |                |            |
|-----------------------------|---------------|----------------|------------|
| ①<br>脊振山                    | ②<br>基山       | ③<br>十坊山       | ④<br>早良    |
| ⑤<br>糸島                     | ⑥<br>山中       | ⑦<br>洞明橋       | ⑧<br>小切    |
| ⑨<br>9 6 7 . 1<br>( 9 6 7 ) | ⑩<br>道明       | ⑪<br>北山少年自然の家  | ⑫<br>4     |
| ⑬<br>北山東部小学校                | ⑭<br>下合瀬の大カツラ | ⑮<br>横断林道下     | ⑯<br>水無鍾乳洞 |
| ⑰<br>9 8 2 . 2              | ⑱<br>ミツバツツジ   | ⑲<br>9 5 5 . 3 | ⑳<br>羽金    |
| ㉑<br>踏査                     | ㉒<br>3        | ㉓<br>北山        | ㉔<br>古場川   |

2 【0.5×8】

|              |         |            |                          |
|--------------|---------|------------|--------------------------|
| (1) ①<br>やさか | ②<br>はじ | ③<br>しおひがわ | (3)<br>4 5 0 0           |
| (2) ①<br>神社  | ②<br>竹林 | ③<br>墓地    | (4)<br>栗木史多<br>(くりきのぶかず) |

3 【0.3×10】

|        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| ①<br>エ | ②<br>タ | ③<br>チ | ④<br>オ |
| ⑤<br>カ | ⑥<br>サ | ⑦<br>ス | ⑧<br>イ |
| ⑨<br>コ | ⑩<br>ク | ⑪<br>ニ | ⑫<br>テ |

4 【0.1×10】

|           |               |            |          |
|-----------|---------------|------------|----------|
| ①<br>デポ   | ②<br>エスケープルート | ③<br>縦走    | ④<br>左岸  |
| ⑤<br>ケルン  | ⑥<br>非常食      | ⑦<br>トラバース | ⑧<br>かやと |
| ⑨<br>ツェルト | ⑩<br>浮き石      |            |          |

| パーティ名 | 学校名 | 氏 名 | 得点 |
|-------|-----|-----|----|
|       |     |     |    |

平成30年度佐賀県高等学校総合体育大会登山大会自然観察課題 解答用紙

1 【0.5×24】

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| ① | ② | ③ | ④ |
| ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ |
| ⑨ | ⑩ | ⑪ | ⑫ |
| ⑬ | ⑭ | ⑮ | ⑯ |
| ⑰ | ⑱ | ⑲ | ⑳ |
| ㉑ | ㉒ | ㉓ | ㉔ |

2 【0.5×8】

|     |   |   |   |     |
|-----|---|---|---|-----|
| (1) | ① | ② | ③ | (3) |
| (2) | ① | ② | ③ | (4) |

3 【0.3×10】

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| ① | ② | ③ | ④ |
| ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ |
| ⑨ | ⑩ | ⑪ | ⑫ |

4 【0.1×10】

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| ① | ② | ③ | ④ |
| ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ |
| ⑨ | ⑩ |   |   |

| パーティ名 | 学校名 | 氏 名 | 得点 |
|-------|-----|-----|----|
|       |     |     |    |

平成30年度佐賀県高等学校総合体育大会登山大会 救急課題(解答例)

| パーティ名 | 学校名 | 氏 名 | 得点 |
|-------|-----|-----|----|
|       |     |     | /5 |

1. 捻挫の処置方法に「RICE」がある。「R」と「C」が表す処置をそれぞれ

日本語で書きなさい。【0.3×2】

| R  | C  |
|----|----|
| 安静 | 圧迫 |

2. 次の熱中症について、文中の①、⑦、⑧については、( )に適する語句(漢字)または数字で書き、

②～⑥については下から語群から選びなさい。【0.3×3+0.1×5】

中等症と重症の違いは「( ① )が正常であるか」が判断基準となる。中等症としては、( ② )と( ③ )が考えられるが、無理して分ける必要がない。まず、( ④ )や( ⑤ )などの症状があれば、すぐに日陰に移動し、衣服をゆるめ、( ⑥ )を補給することが有効である。行動中の[脱水]は体重(kg)×( ⑦ )×5で計算されるといわれている。水分の補給に当たっては7割～10割を目安とし、最低でも( ⑧ )時間ごとに行う。行動開始前に、その一部をあらかじめ補給しておくといよい。

| ①  | ②    | ③    | ④    | ⑤    | ⑥ | ⑦    | ⑧ |
|----|------|------|------|------|---|------|---|
| 意識 | ア(ウ) | ウ(ア) | エ(キ) | キ(エ) | サ | 行動時間 | 1 |

|         |         |        |          |       |
|---------|---------|--------|----------|-------|
| ア, 熱疲労  | イ, 熱射病  | ウ, 熱失神 | エ, 立ちくらみ | オ, 頭痛 |
| カ, 吐き気  | キ, めまい  | ク, ABC | ケ, クーリング | コ, 冷水 |
| サ, 水分塩分 | シ, 炭水化物 |        |          |       |

3. 次の文中の( )に適する語句を下から選べ。【0.2×5】

- ・ 傷病者への初期対応に「3SABCDE」がある。「B」を表す処置は( ① )である。
- ・ 止血法で一番有効な方法は、( ② )である。
- ・ 低体温症とは、脳や内臓(深部体温)が、( ③ )℃以下になった状態である。
- ・ 急性高山病は、( ④ )m以上の登山で起こりやすい。
- ・ 熱傷の処置は、( ⑤ )を用いて、冷却する。

| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|---|---|---|---|---|
| ト | オ | キ | チ | シ |

|         |         |         |           |         |
|---------|---------|---------|-----------|---------|
| ア, 冷却   | イ, 挙上   | ウ, 緊縛法  | エ, 止血点の圧迫 | オ, 直接圧迫 |
| カ, 安静   | キ, 35   | ク, 60   | ケ, 500    | コ, 100  |
| サ, 氷    | シ, 飲み水  | ス, 炭水化物 | セ, 温かいお湯  | コ, 塩分   |
| タ, 3000 | チ, 2000 | ツ, 循環   | テ, 気道確保   | ト, 呼吸   |

4. 次にあげる医薬品を出しなさい。【0.5×4】

整腸剤(胃腸薬) ( ) 鎮痛剤 ( ) 湿布薬 ( ) 三角巾 ( )

平成30年度佐賀県高等学校総合体育大会登山大会 救急課題

| パーティ名 | 学校名 | 氏 名 | 得点 |
|-------|-----|-----|----|
|       |     |     | /5 |

1. 捻挫の処置方法に「RICE」がある。「R」と「C」が表す処置をそれぞれ

日本語で書きなさい。【0.3×2】

| R | C |
|---|---|
|   |   |

2. 次の熱中症について、文中の①、⑦、⑧については、（ ）に適する語句(漢字)または数字で書き、

②～⑥については下から語群から選びなさい。【0.3×3+0.1×5】

中等症と重症の違いは「（ ① ）が正常であるか」が判断基準となる。中等症としては、（ ② ）と（ ③ ）が考えられるが、無理して分ける必要がない。まず、（ ④ ）や（ ⑤ ）などの症状があれば、すぐに日陰に移動し、衣服をゆるめ、（ ⑥ ）を補給することが有効である。行動中の[脱水]は体重(kg)×（ ⑦ ）×5で計算されるといわれている。水分の補給に当たっては7割～10割を目安とし、最低でも（ ⑧ ）時間ごとに行う。行動開始前に、その一部をあらかじめ補給しておくといよい。

| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
|   |   |   |   |   |   |   |   |

|         |         |        |          |       |
|---------|---------|--------|----------|-------|
| ア, 熱疲労  | イ, 熱射病  | ウ, 熱失神 | エ, 立ちくらみ | オ, 頭痛 |
| カ, 吐き気  | キ, めまい  | ク, ABC | ケ, クーリング | コ, 冷水 |
| サ, 水分塩分 | シ, 炭水化物 |        |          |       |

3. 次の文中の（ ）に適する語句を下から選べ。【0.2×5】

- ・ 傷病者への初期対応に「3SABCDE」がある。「B」を表す処置は（ ① ）である。
- ・ 止血法で一番有効な方法は、（ ② ）である。
- ・ 低体温症とは、脳や内臓（深部体温）が、（ ③ ）℃以下になった状態である。
- ・ 急性高山病は、（ ④ ）m以上の登山で起こりやすい。
- ・ 熱傷の処置は、（ ⑤ ）を用いて、冷却する。

| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|---|---|---|---|---|
|   |   |   |   |   |

|         |         |         |           |         |
|---------|---------|---------|-----------|---------|
| ア, 冷却   | イ, 挙上   | ウ, 緊縛法  | エ, 止血点の圧迫 | オ, 直接圧迫 |
| カ, 安静   | キ, 35   | ク, 60   | ケ, 500    | コ, 100  |
| サ, 氷    | シ, 飲み水  | ス, 炭水化物 | セ, 温かいお湯  | コ, 塩分   |
| タ, 3000 | チ, 2000 | ツ, 循環   | テ, 気道確保   | ト, 呼吸   |

4. 次にあげる医薬品を出しなさい。【0.5×4】

整腸剤(胃腸薬) ( ) 鎮痛剤 ( ) 湿布薬 ( ) 三角巾 ( )

# 平成30年度 佐賀県高等学校総合体育大会登山大会審査集計表

大会山域

金山・井原山・雷山山系

日 程

平成30年6月1日～6月3日

|     | 縦　　走 |     |          |     |           |     | 天気図 | 装　備  | 計画書  | 記録   | 学科   | 設営<br>撤収 | 救急法  | 炊事   | マナー | 総合計    | 順位 | 備　考 |
|-----|------|-----|----------|-----|-----------|-----|-----|------|------|------|------|----------|------|------|-----|--------|----|-----|
|     | 特　区  |     | 縦走       |     | 踏査        |     |     |      |      |      |      |          |      |      |     |        |    |     |
|     | 時間点  | 完歩点 | 体力<br>歩行 | 読図  | 制限<br>時間点 | 読図  |     |      |      |      |      |          |      |      |     |        |    |     |
|     | 15   | 2   | 12       | 6   | 4         | 6   |     |      |      |      |      |          |      |      |     |        |    |     |
| A 1 | 15   | 2   | 12       | 5   | 4         | 4.5 | 9.6 | 6    | 5    | 4.5  | 6.60 | 5        | 5.00 | 5    | 5   | 94.200 | 1  | 佐工  |
| A 2 | 0    | 2   | 11.8     | 3   | 4         | 5   | 5.7 | 5.5  | 5    | 3.75 | 5.15 | 5        | 3.00 | 4.5  | 4   | 67.400 |    |     |
| A 3 | 8.6  | 2   | 12       | 3   | 4         | 5.5 | 6.7 | 5.5  | 4.5  | 3    | 5.60 | 6        | 4.30 | 4.5  | 3   | 78.200 | 3  | 三高  |
| A 4 | 0    | 2   | 11.5     | 1   | 0         | 2.5 | 5.2 | 3.5  | 4.25 | 3.25 | 3.25 | 2        | 3.50 | 3.25 | 3   | 48.200 |    |     |
| A 5 | 13   | 2   | 11.8     | 6   | 4         | 4   | 8.2 | 5.25 | 5    | 3.75 | 4.80 | 5        | 5.00 | 5    | 4   | 86.800 | 2  | 鳥工  |
|     |      |     |          |     |           |     |     |      |      |      |      |          |      |      |     |        |    |     |
| B 1 | 0    | 2   | 11.8     | 2   | 4         | 3   | 1.9 | 2.5  | 5    | 3    | 4.80 | 2        | 0.00 | 4    | 4   | 50.000 |    |     |
| B 2 | 0    | 2   | 9.9      | 1.5 | 0         | 1   | 5.5 | 2    | 4    | 1.5  | 2.60 | 2        | 1.00 | 3.25 | 3.5 | 39.750 |    |     |
| B 3 | 0    | 2   | 11       | 4   | 4         | 5.5 | 6.9 | 6    | 5    | 4.25 | 5.05 | 5        | 4.40 | 5    | 5   | 73.100 |    |     |
| B 4 | 0    | 0   | 10.8     | 3.5 | 4         | 5   | 7.5 | 5.5  | 5    | 2.25 | 4.75 | 6        | 4.90 | 4.25 | 4   | 67.450 |    |     |
| B 5 | 9.3  | 2   | 11.8     | 4.5 | 4         | 5.5 | 9.2 | 5    | 5    | 3.5  | 3.80 | 4        | 2.65 | 3.75 | 2.5 | 76.500 |    |     |
| B 6 | 2    | 2   | 12       | 5   | 4         | 3.5 | 8.7 | 5.75 | 5    | 4.5  | 4.25 | 6        | 4.70 | 4.75 | 4   | 76.150 |    |     |
| B 7 | 0    | 2   | 11.8     | 0.5 | 4         | 5   | 6   | 1.5  | 5    | 1.75 | 2.70 | 6        | 1.30 | 3.25 | 3.5 | 54.300 |    |     |
| B 8 | 0    | 2   | 12       | 3   | 4         | 4   | 0.9 | 5.5  | 4.5  | 3    | 5.30 | 3        | 4.30 | 4.25 | 5   | 60.750 |    |     |
| B 9 |      |     |          |     |           |     |     |      |      |      |      |          |      |      |     |        |    |     |
|     |      |     |          |     |           |     |     |      |      |      |      |          |      |      |     |        |    |     |
| C 1 | 1.1  | 2   | 8        | 1   | 4         | 2.5 | 6.8 | 5.5  | 3.75 | 2.75 | 4.85 | 4        | 4.05 | 5    | 5   | 60.300 | 2  | 三高  |
| C 2 | 15   | 2   | 12       | 4   | 4         | 6   | 7.5 | 6    | 5    | 4.5  | 5.40 | 6        | 4.50 | 5    | 4   | 90.900 | 1  | 唐東  |
| C 3 | 3.4  | 2   | 11.8     | 2   | 4         | 1.5 | 2.6 | 2.5  | 5    | 3.5  | 4.75 | 5        | 2.20 | 4.5  | 5   | 59.750 |    |     |
|     |      |     |          |     |           |     |     |      |      |      |      |          |      |      |     |        |    |     |

男子 優勝 佐賀工業高等学校  
女子 優勝 唐津東高等学校

2年ぶり12回目  
5年連続5回目



# 平成30年度佐賀県高等学校登山新人大会 自然観察課題

平成30年11月10日（土）実施

## 1 次の文中の（ ① ）～（ ②⑤ ）に入る適切な語句を答えなさい。【0.5×25】

大会1日目は、（ ① ）市（ ② ）町にある（ ③ ）跡で開始式が行われる。その後ペーパーテスト、昼食の後、縦走が実施される。縦走スタートは、（ ③ ）跡から（ ④ ）に向かい、そこから急登を登り、一部下りのコースと同じ個所を通ることになるが、しばらく登った途中の分岐から（ ⑤ ）[標高（ ⑥ ）m]に直登する。（ ⑤ ）から（ ⑦ ）湾を見下ろすことができる。その後、キャンプ場に到着する。ほとりの池には日本料理の食材としても利用され、池の名称にもなっている（ ⑧ ）が自生している。（ ⑨ ）にある作礼権現を拝観した後、（ ③ ）跡に下り、幕営地である（ ⑩ ）に向かう。

大会2日目は、（ ⑩ ）から顧問の車で、（ ⑪ ）登山口に向かい、（ ⑫ ）に經由して、東西約（ ⑬ ）kmに及ぶ尾根を西進し、（ ⑭ ）[標高（ ⑮ ）m]に登頂する。（ ⑭ ）の北西部には、揚水発電所として稼働している上部ダムである（ ⑯ ）ダムがある。（ ⑭ ）の山頂付近には、珍しい植物が群生していて多くの登山客が訪れる。山頂は、（ ① ）市（ ② ）町、（ ⑰ ）市、小城市（ ⑱ ）町、佐賀市（ ⑲ ）町と接している。（ ⑭ ）で十分に休憩をとり、その後、大小さまざまな岩や石が崩壊しガラガラしている斜面を慎重に下り、（ ⑳ ）で右折し、車道や林道を交叉しながら、下りに気をつけ（ ㉑ ）まで下ると、そこからはアスファルト道を通り、（ ㉒ ）で、縦走を終える。（ ㉒ ）から（ ㉓ ）までは（ ㉔ ）と呼ばれる山道の一部で、（ ㉒ ）から東には、今年の県総体で開始式を行った（ ㉕ ）キャンプ場や来年の県総体の最高峰である福岡県境にある（ ㉖ ）があり、三養基郡基山町まで続いている。

## 2 1の間で斜線部分を何というか。【0.5】

## 3 1日目に登る山（1の④）と2日目に登る山（1の⑬）とは、2万5千分の一の地図上で約30cmであった。実際の距離はいくらか【0.5】

## 4 次の問いに答えなさい。【0.5×12】

（1）次の地名の読みを書きなさい。

- ① 相知    ② 榎の木    ③ 白木木場    ④ 桑鶴    ⑤ 石体

（2）次の地図記号を答えなさい

- ①     ②     ③     ④     ⑤ 

（3）次の河川名を答えなさい。

- ① 1日目の開始式付近に流れている河川    ② 2日目の縦走終了付近に流れている河川

## 5 登山用語について、次の問いに答えなさい。【0.5×5】

- ① 川や沢で下流から上流を見て左側の岸。
- ② 山中で茅などが広く生えている尾根や緩斜面
- ③ 低温や乾燥のために高木が生育できない高度のこと。
- ④ 登頂を目的とせずに山麓を歩くこと。
- ⑤ 峰から峰へと続く線のこと。

## 6 気象知識について、次の問に答えなさい。【0.5×6】

- ① 気温は高度を増すごとに低下する。高度1,000で何℃低下するか。
- ② 「体感温度＝気温－4×√（ ）」がリンケの式として知られている。（ ）内に入るものは何か。
- ③ 寒冷前線の移動速度は温暖前線に比べて速く、雨の区域として約何kmぐらいか。
- ④ 風速により熱帯性低気圧と台風に区別されるが、中心気圧の最大風速が何m/sで台風となるか。
- ⑤ 冬季にしばしばあられ、日本に寒気を運んでくる気団を何というか。
- ⑥ 雷の発生は、激しい何が成因となっているか。

1 【0.5×25】

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ |
| ⑪ | ⑫ | ⑬ | ⑭ | ⑮ |
| ⑯ | ⑰ | ⑱ | ⑲ | ⑳ |
| ㉑ | ㉒ | ㉓ | ㉔ | ㉕ |

2 【0.5×1】

|  |
|--|
|  |
|--|

3 【0.5×1】

|  |
|--|
|  |
|--|

4 【0.5×12】

|     |   |   |   |   |   |
|-----|---|---|---|---|---|
| (1) | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| (2) | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
| (3) | ① | ② |   |   |   |

5 【0.5×5】

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|---|---|---|---|---|

6 【0.5×5】

|   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |
|---|---|---|---|---|---|

|       |     |    |           |
|-------|-----|----|-----------|
| パーティ名 | 学校名 | 氏名 | 得点<br>/25 |
|-------|-----|----|-----------|

平成30年度佐賀県高等学校登山新人大会 自然観察課題 解答

1 【0.5×25】

|            |                  |             |              |              |
|------------|------------------|-------------|--------------|--------------|
| ①<br>唐津    | ②<br>厳木          | ③<br>平之分校   | ④<br>鈴虫峠     | ⑤<br>作礼山(西峰) |
| ⑥<br>887.1 | ⑦<br>唐津          | ⑧<br>じゅんさい  | ⑨<br>作礼山(東峰) | ⑩<br>多久高校    |
| ⑪<br>石体    | ⑫<br>七曲峠         | ⑬<br>2～3    | ⑭<br>天山      | ⑮<br>1046.1  |
| ⑯<br>天山    | ⑰<br>多久          | ⑱<br>小城     | ⑲<br>富士      | ⑳<br>雨山分岐    |
| ㉑<br>天山登山口 | ㉒<br>岸川ダム<br>登山口 | ㉓<br>九州自然歩道 | ㉔<br>山中      | ㉕<br>脊振山     |

2 【0.5×1】

|     |
|-----|
| ガレ場 |
|-----|

3 【0.5×1】

|       |
|-------|
| 7.5km |
|-------|

4 【0.5×12】

|              |           |            |           |            |
|--------------|-----------|------------|-----------|------------|
| (1) ①<br>おうち | ②<br>もみのき | ③<br>しらきこば | ④<br>くわづる | ⑤<br>しゃくたい |
| (2) ①<br>発電所 | ②<br>荒地   | ③<br>茶畑    | ④<br>果樹園  | ⑤<br>標高点   |
| (3) ①<br>平之川 | ②<br>今出川  |            |           |            |

5 【0.5×5】

|         |          |           |             |         |
|---------|----------|-----------|-------------|---------|
| ①<br>右岸 | ②<br>かやと | ③<br>森林限界 | ④<br>トレッキング | ⑤<br>稜線 |
|---------|----------|-----------|-------------|---------|

6 【0.5×6】

|          |         |         |         |           |           |
|----------|---------|---------|---------|-----------|-----------|
| ①<br>6.5 | ②<br>風速 | ③<br>70 | ④<br>17 | ⑤<br>シベリア | ⑥<br>上昇気流 |
|----------|---------|---------|---------|-----------|-----------|

|       |     |    |                   |
|-------|-----|----|-------------------|
| パーティ名 | 学校名 | 氏名 | 得点<br><br><br>/25 |
|-------|-----|----|-------------------|

平成30年度佐賀県高体連登山部新人大会 救急課題(解答例)

| パーティ名 | 学校名 | 氏 名 | 得点 |
|-------|-----|-----|----|
|       |     |     | /5 |

1. 次の文章は、傷病者に対する初期対応に関する記述である。文中の( )に適する語句・数値を下から選きなさい。また、下線部分をまとめて数字とアルファベット(6文字)で表すと、どのようになるか。

【0.2×8+0.4】

傷病者(負傷者)を発見した場合は、滑落や転倒など何が起こっているか、現在時刻などの( ① )の確認とその場で初期対応を行っていいかの( ② )の確認を行う必要がある。そして、傷病者を見かけ上、まっすぐにするため( ③ )の動きを制限する。次に声をかけるなどして( ④ )の確認をする。( ④ )はないが呼吸をしている傷病者は( ⑤ )をとると( ⑥ )が確保された状態を維持できる。呼吸をしていない場合は、人工呼吸と胸骨圧迫を開始する。胸骨圧迫は胸骨の下半分を一点に重みかけるように肘を伸ばし、肩で垂直に圧迫する。圧迫の深さは成人男性の場合、( ⑦ )胸が沈むくらい、圧迫と人工呼吸の割合は( ⑧ )である。傷病者がどういう状態なのか、全身の確認(痛み・腫れ・変形)を行い、寒さや雨などから傷病者を保護しつつけていく必要がある。

|       |         |       |       |         |               |
|-------|---------|-------|-------|---------|---------------|
| ア, 意識 | イ, 30:2 | ウ, 体温 | エ, 安全 | オ, 状況   | カ, 5~6 cm     |
| キ, 気道 | ク, 15:2 | ケ, 脊椎 | コ, 呼吸 | サ, 回復体位 | シ, 胸の厚みの1/3以上 |

| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ |               |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---------------|
| オ | エ | ケ | ア | サ | キ | シ | イ | 3 S A B C D E |

2. 次の文章は、足首のねんざの手当てに関する記述である。文中の( )の最も適切な数値を選び、答えなさい。下記の4つをまとめてアルファベット表記すると、どのようになるか。【0.2×3+0.4】

- ・足首は副木やテーピングなどで{① 45 ・ 90 ・ 120}°にして固定する。
- ・1回の冷却は{② 5 ・ 10 ・ 20}分以内に留める。
- ・軽く圧迫気味にテープや包帯で損傷部を巻く。
- ・損傷部を心臓より高い位置に{③ 5 ・ 30 ・ 90} cm程度上げる。

| ①  | ②  | ③  |         |
|----|----|----|---------|
| 90 | 20 | 30 | R I C E |

3. 次の記述について 正しいものには○を間違っているものには×を( )に書きなさい。【0.1×5】

- ( × ) 熱傷の処置では、とにかく冷却することが重要なので、氷水を使用する。
- ( ○ ) 高山病の予防対策は、ゆっくりと時間をかけて登り、こまめに水分補給する。
- ( × ) 中等症の熱中症については、水分と一緒にカロリーの高い食品を摂取する。
- ( ○ ) 低体温症の予防と治療の一つとして、食べる(炭水化物が最も効果的なエネルギー)ことがある。
- ( × ) 靴擦れによるできた水泡はつぶさず、靴擦れ用の絆創膏(厚みがある)を患部にあてる。

4. 次にあげる医薬品を出しなさい。【0.5×3】

風邪薬 ( ) 消毒薬 ( ) テーピング ( )

平成30年度佐賀県高体連登山部新人大会 救急課題

| パーティ名 | 学校名 | 氏 名 | 得点 |
|-------|-----|-----|----|
|       |     |     | /5 |

1. 次の文章は、傷病者に対する初期対応に関する記述である。文中の（ ）に適する語句・数値を下から選りなさい。また、下線部分をまとめて数字とアルファベット(6文字)で表すと、どのようになるか。

【0.2×8+0.4】

傷病者（負傷者）を発見した場合は、滑落や転倒など何が起こっているか、現在時刻などの（ ① ）の確認とその場で初期対応を行っていいかの（ ② ）の確認を行う必要がある。そして、傷病者を見かけ上、まっすぐにするため（ ③ ）の動きを制限する。次に声をかけるなどして（ ④ ）の確認をする。（ ④ ）はないが呼吸をしている傷病者は（ ⑤ ）をとると（ ⑥ ）が確保された状態を維持できる。呼吸をしていない場合は、人工呼吸と胸骨圧迫を開始する。胸骨圧迫は胸骨の下半分を一点に重みかけるように肘を伸ばし、肩で垂直に圧迫する。圧迫の深さは成人男性の場合、（ ⑦ ）胸が沈むくらい、圧迫と人工呼吸の割合は（ ⑧ ）である。傷病者がどういう状態なのか、全身の確認（痛み・腫れ・変形）を行い、寒さや雨などから傷病者を保護しつづけていく必要がある。

|      |        |      |      |        |              |
|------|--------|------|------|--------|--------------|
| ア、意識 | イ、30:2 | ウ、体温 | エ、安全 | オ、状況   | カ、5～6cm      |
| キ、気道 | ク、15:2 | ケ、脊椎 | コ、呼吸 | サ、回復体位 | シ、胸の厚みの1/3以上 |

| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ |  |
|---|---|---|---|---|---|---|---|--|
|   |   |   |   |   |   |   |   |  |

2. 次の文章は、足首のねんざの手当てに関する記述である。文中の（ ）の最も適切な数値を選び、答えなさい。下記の4つをまとめてアルファベット表記すると、どのようになるか。【0.2×3+0.4】

- ・足首は副木やテーピングなどで{①45 ・ 90 ・ 120}°にして固定する。
- ・1回の冷却は{②5 ・ 10 ・ 20}分以内に留める。
- ・軽く圧迫気味にテープや包帯で損傷部を巻く。
- ・損傷部を心臓より高い位置に{③5 ・ 30 ・ 90}cm程度上げる。

| ① | ② | ③ |  |
|---|---|---|--|
|   |   |   |  |

3. 次の記述について 正しいものには○を間違っているものには×を（ ）に書きなさい。【0.1×5】

- （ ） 熱傷の処置では、とにかく冷却することが重要なので、氷水を使用する。
- （ ） 高山病の予防対策は、ゆっくりと時間をかけて登り、こまめに水分補給する。
- （ ） 中等症の熱中症については、水分と一緒にカロリーの高い食品を摂取する。
- （ ） 低体温症の予防と治療の一つとして、食べる(炭水化物が最も効果的なエネルギー)ことがある。
- （ ） 靴擦れによるできた水泡はつぶさず、靴擦れ用の絆創膏（厚みがある）を患部にあてる。

4. 次にあげる医薬品を出しなさい。【0.5×3】

風邪薬 （ ） 消毒薬 （ ） テーピング （ ）

## 平成30年度 佐賀県高等学校新人登山大会 審査集計表

平成30年11月10日(土)・11日(日)

作礼山・天山山系

[illegible]